

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	津久井湖城山公園		
所在地	神奈川県相模原市緑区根小屋他		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukukoshiroyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成11年4月1日)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所 津久井治水センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとなった。</p> <p>利用状況について、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、例年通りの大型イベントが開催できたことから、利用者数は、前年を上回ることができたものの目標値には達することができずB評価となったが、適切な維持管理を行った結果、利用者の満足度も非常に高く、指定管理者の努力がうかがえた。</p> <p>3項目の評価以外の各項目について、苦情・要望が5件あったが、迅速かつ丁寧に対応が図られ、苦情が出ないよう努力している。また、事故・不祥事は1件あったが、指定管理業務に起因するものはなく、事後の対応も迅速かつ適切で、県への報告も速やかに行われた。</p> <p>引き続き、利用者の高い満足度の維持に努めるほか、地域活性化に資する利用促進事業を更に充実させるなど、利用者数の増加に向けた取組みに期待したい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、大規模イベントをコロナ禍前の例年通りの規模で開催するとともに、ボランティア団体と協力して本公園の特性を十分に踏まえた歴史や自然に関する様々な魅力あるイベントを開催するなど、利用者にも数多くの学習の場を提供した。維持管理においては、経年劣化した木製ベンチや垣根等の修繕を積極的に進め、安全に公園が利用できるよう努めるとともに、国道沿いに大型プラントナーを設置して花修景を強化するなど、観光地らしい魅力的な景観の創出に努めた。</p> <p>◆利用状況 5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、大規模イベントが例年通り開催できたものの、これまで旅行を控えてきた観光客が遠出をすることで、利用者数が伸びず、利用者数は前年度との比較で100.5%とほぼ横ばいで、目標値に対しては87.8%に留まり、B評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 指定管理者により、春と秋の2回調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が96.2%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 収入については、自動販売機の売上が引き続き好調だったことから、当初計画額より861千円増となった。また、支出については、計画的な予算執行に努め、概ね計画どおりであった。収支比率は100.6%で、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 苦情・要望は5件あったが、いずれも迅速かつ適切に対応していた。また、日頃より維持管理において細かな配慮や工夫を行い、よく訪れる近隣の来園者からも評価を得ており、引き続き適切な維持管理に努めてもらいたい。</p> <p>◆事故・不祥事等 管理スタッフが怪我をする事故が発生したが、指定管理業務に起因するものはなかった。 事故後の対応は速やかに行われ、県への報告も的確に行われていた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでいた。</p> <p>◆その他 なお、令和5年度の3項目評価については、A評価とした。今後も、満足度の維持や利用者数の増加に努めながら、引き続き、質の高い管理運営業務を行ってほしい。</p>

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	A	B	S	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	植物管理、施設管理等における課題共有、及び対応に向けた役割分担の確認、また事故発生後の再発防止策の報告、検討など、随時意見交換等を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
5月にルピナスまつりを実施。地元観光協会や商工会とも連携しながら推進し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は1,000人。	雨天のため中止。	新型コロナウイルスが5類に移行することから、コロナ禍前の規模での開催に向け準備を進めていたが、荒天であったため中止を余儀なくされた。
11月に第7回つくい湖湖上祭を実施。実行委員会に指定管理者も参加し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は10,000人。	11月19日(日)に第7回つくい湖湖上祭を実施。地元の魅力をPRするべく、ステージ企画や地域物産等の販売に加え、イルミネーション点灯式、花火の打上げを実施。約10,000人の来園に留まった。	天候に恵まれ、多くの来園者で賑わい、提案通りの効果があった。
11月に宝ヶ峯の里まつりを実施。100名以上の公園ボランティアと協力しながら体験イベントなどを実施し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は500人。	11月23日(木)に様々な里山体験を行うイベント実施。ボランティア団体にとっては、一大イベントであり、良好な関係のもと様々なイベントが行われた。参加人数は700人であった。	天候に恵まれ、多くの来園者で賑わい、提案通りの効果があった。
3月に第23回津久井湖さくらまつりを実施。津久井湖両岸の水の苑地と花の苑地で、地元観光協会や商工会とも連携しながら推進し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は10,000人。	3月30(土)・31日(日)に第26回津久井湖さくらまつりを実施。花の苑地、水の苑地で開催された。ステージ企画、地域特産品、軽食等の販売を実施した。来園者は約22,000人であった。	天候に恵まれ、また、さくらの満開時期と重なり、多くの来園者で賑わい、計画を大幅に上回る実績を上げた。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
◆カレンダーの販売 県立都市公園のPRを行う。	計画どおり実施。収支は計画を上回り+4.7千円であった。
◆望遠鏡の設置 有料の望遠鏡を設置し、来園者に眺望を楽しんでいただく。	計画どおり実施。収支は計画を上回り+29千円であった。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	442,572	436,733	438,944
対前年度比		98.7%	100.5%
目標値	542,300	490,000	500,000
目標達成率	81.6%	89.1%	87.8%

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、年2回の詳細アンケートを使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 396 / 400 = 99.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	279	102	11	4	0	396	
回答率	70.5%	25.8%	2.8%	1.0%	0.0%		
前年度の回答数	297	84	9	5	0	395	
前年度回答率	75.2%	21.3%	2.3%	1.3%			
回答率の対前年度比	93.7%	121.1%	121.9%	79.8%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

--

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	153,827	0	433	自販機 433	154,260	154,260	0	
	決算	153,827	0	1,500	自販機 1,500	155,327	149,815	5,512	103.68%
前年度	当初予算	163,000	0	858	自販機 858	163,858	163,858	0	
	決算	163,000	0	1,678	自販機 1,678	164,678	163,856	822	100.50%
令和5年度	当初予算	163,122	0	858	自販機 858	163,980	163,980	0	
	決算	163,122	0	1,719	自販機 1,719	164,841	163,816	1,025	100.63%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	2 件	①小倉道の通行止め看板がそのままとなっている。 ②ナラ枯れの樹木の枝が近くに落ちてきた。 ③花壇の土留の木が腐食している。 ④公園の樹木の落ち葉が多くて困っている。	①表示は修正していたが分かり易いように改善した。 ②速やかに落下枝の処理をし、登山道を通行止めした。後日、被害木の伐採を行った。 ③土留柵の交換を行った。 ④直ちに要望箇所の雑木伐採処理を行った。
	来園	2 件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	メール	1 件	①イノシシがフェンスに穴を開けて家の周囲を荒らしている。	①伐採した竹などを用いてフェンスの下側部分を補強した。また県では地元猟友会に委託してくくり罠による駆除を実施した。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 5. 14	①管理スタッフが水の苑池女子トイレ前で清掃中に転倒した。 ②5/18に指定管理者より報告を受ける。 ③後日病院にて受診した。 ④無 ⑤費用負担は無し。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。